

豪州 - 政策金利据え置き、様子見姿勢が続く -

＜金利据え置き、ハト派姿勢を維持＞

2月2日、オーストラリア準備銀行（以下、RBA）は政策理事会を開催し、政策金利を2.00%で据え置くことを決定しました。

声明文は1月に世界的に株式市場が下落したことなどを反映し、世界経済の先行き不透明感が増していることを確認する内容となりました。また、2015年、オーストラリア国内では資源セクターでの設備投資が調整する一方、非資源セクターでは景気の拡大が続いてきたことが声明文の中で述べられました。RBAはインフレ率が抑制されていることなどから、情勢次第で追加金融緩和を行う可能性があることを改めて示しました。

＜豪ドルの推移＞

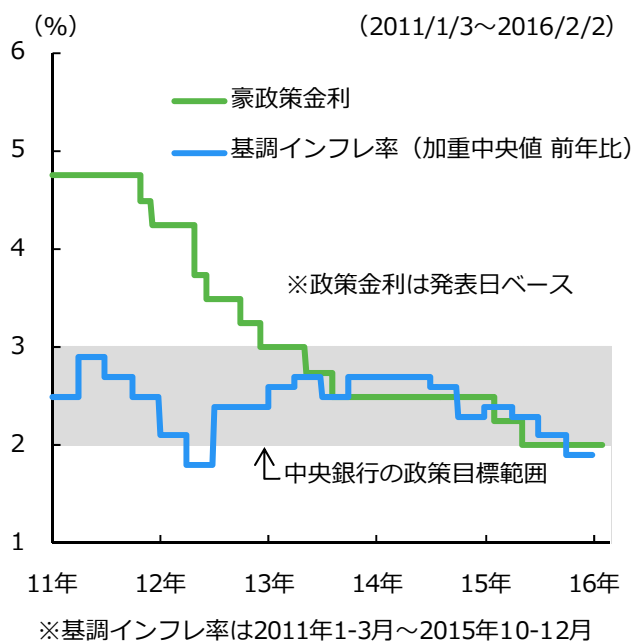
1月は中国株式市場の下落を背景とした世界的な株式市場の調整などからリスク回避的な動きが広がり、月の半ばまで豪ドルは軟調に推移しました。その後は中国の株式市場の下げ止まり、ドラギECB総裁が追加緩和を示唆したことなどを背景として金融市場のセンチメントが改善、つれて豪ドルも反発する展開となりました。直近では日本銀行の追加金融緩和の決定も豪ドルの支援材料となっています。

今回のRBAの政策金利据え置きや声明文を受けて、豪ドルは小幅に下落しています。午後2時現在、1豪ドル=0.7076米ドル、1豪ドル=85.34円となっています。

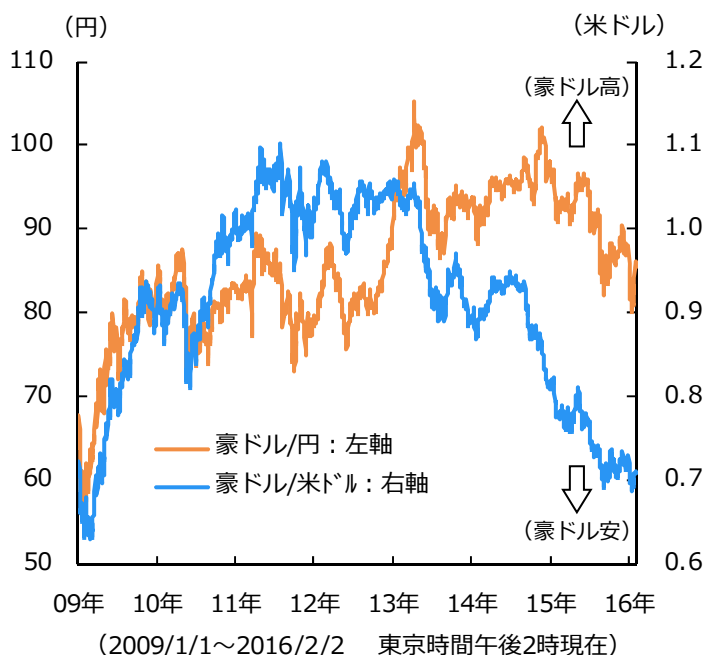
＜今後の見通し＞

資源価格は下げ止まりつつあるほか、通貨安が資源安の悪影響を緩和することが見込まれます。通貨安は観光や留学といったサービス輸出の追い風となることが予想され、豪州景気は良好な推移が続くことが予想されます。また、2015年12月には中国とオーストラリアの間で自由貿易協定が発効されており、関税の撤廃が進んでいくことで中長期的に農業分野などで輸出が拡大していくことも期待されます。為替については、日本とオーストラリアの金利差を背景に豪ドル円は底堅い推移が予想されます。

＜政策金利とインフレ率の推移＞



＜豪ドルの推移＞



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会